



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、急遽「臨時休業」の処置となりご迷惑をおかけしております。休業中の子ども達に対するご支援ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

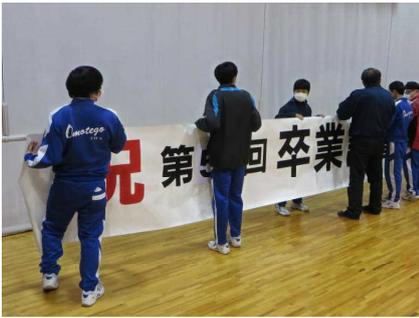
『50名の新たな旅立ち』 夢へ向かって
…… 感謝の気持ちを「在校生」

本日、「第59回卒業証書授与式」を卒業生・保護者・教職員・在校生代表が出席し実施しました。卒業生50名は、学級担任の呼名に大きな返事で応えたり、卒業証書をきびきびとした動作で受け取ったり、堂々と式に臨んでいました。進学先でも、表郷中学校卒業生の誇りを胸に、夢の実現を目指して努力し続けてほしいと思います。

規模を縮小しての実施となったため在校生は参加できませんでしたが、1・2年生は「感謝の気持ち」を込めて会場作成に取り組みました。



〈卒業式の練習風景：卒業生〉



〈卒業式の会場作成：1・2年生〉

在校生が卒業式で歌う予定だった「蛍の光」です。

「 蛍 の 光 」

卒業生頑張れ！

蛍の光 窓の雪
書讀(ふみよむ) 月日 重ねつゝ
何時(いつ) しか年も すぎの戸を
開けてぞ今朝は 別れ行く

止まるも行くも 限りとて
互(かたみ)に思ふ 千萬(ちよろづ)の
心の端を 一言に
幸(さき)くと許(ばか)り 歌ふなり



むかし、中国のある人は、ほたるの光や窓の雪あかりで本を読んだといわれているが、私たちも苦勞していろいろな本を読み、長いあいだ勉強してきたものだ。

早いもので、気がつくといつの間にか月日がたっていて、今日この日、とうとう巣立っていく日がきてしまった。

別れというものはさびしいものだ。とどまるものにとっても、行くものにとっても……。

これきりでもう会えぬかもしれない……そんな気もしながら、おたがいにかぞえきれないほどの思いを、ただひとこと、元気でね、おたがい元気でね、と、心をこめて歌うのだ。

※一例です